

活動者・利用者のお声（つづき）

これまで福祉除雪協力員を続けられた秘訣を教えてください

児玉さん：まずは、自分が健康でいることです。そして、地域のために役に立ちたいという気持ちです。
山本さん：今まで地域を支えてくださった方々へのお礼の気持ちと自分の健康維持も兼ねて取り組んでいます。



福祉除雪制度についてどのように感じていますか？

児玉さん：「地域における支え合い」の事業として、もっと制度が広まってもらいたいものです。
山本さん：これから高齢化が進む中では必要な制度だと思います。自分も可能な限り協力員として活動を続けたいです。



協力員の山本さん(左)と
利用者の鈴木さん(右)

福祉除雪ご利用者
鈴木千枝子さんの声

福祉除雪を利用して6年目になります。腰を悪くして、自分で除雪することができないので、とても助かっています。山本さんや地域の皆さんがとても親切にしてくださっています。

市社協 地域福祉係から ～福祉除雪協力員の募集～

急速に高齢化が進む札幌市では、今後も福祉除雪利用者が増加すると考えています。同時に、市民に対して、利用者を日常的に支える福祉除雪協力員の理解と協力の呼び掛けを続けていきたいと思えます。

各区社会福祉協議会では、随時福祉除雪協力員を募集しております。毎年3月25日までの活動期間となっておりますので、今シーズンの活動は無理かもしれませんが、来年度に向けて、是非とも「地域の支え合い」である福祉除雪協力員への登録をお願いします。

問い合わせ 地域福祉係(11ページ参照)

あなたも癒しのスキルを身につけませんか？

フットケア
セラピスト
養成講座
受講生募集

将来のお仕事に、自分自身のスキルアップに、ボランティアに、ご家族の癒しにと様々な場面でご活用いただけるスキルです。下肢のリンパの流れを促して、心と体の緊張をほぐすケア手法を学びます。



NPO 法人 日本リラクゼーションフットケア協会
TEL&FAX.011(813)5106 携帯 .090(1383)1150 (担当：高橋)

税 理 士 法 人
札 幌 中 央 会 計

公認会計士	川崎毅一郎	税 理 士	竹谷 展由
税 理 士		公認会計士	水野 克也
公認会計士	水野 克也	税 理 士	梅津 太
税 理 士		公認会計士	桶谷 洋幸
公認会計士	桶谷 洋幸	税 理 士	松尾もえ子
		税 理 士	佐々木一男

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地2
札幌センタービル24階
TEL (011) 231-6118/FAX (011) 231-6540



総合センターからこんにちは ～大通西 19 丁目から福祉を応援～

社会福祉総合センターは福祉活動の提供を目的とした施設です。



～限りある資源を大切に～

右の写真の部品は今年1月、総合センターの多くの照明に取り付けたものです。何の部品かわかりますでしょうか・・・？

この部品は、人が近づくと自動で点灯するタイプの照明の検知エリアを微調整する部品です。その微調整で節約できるエネルギーはわずかかもしれませんが、限りある資源を大切にするため、総合センター全体としても身近なこと、小さなことから節約を積み重ねています。総合センターご利用の皆様におかれましてもご理解、ご協力をお願いいたします。



「これなあんだ？」



※答えはこのページの下にあります。

一見普通の腕時計ですが、目には見えない機能がついています。常時、腕に密着する腕時計ならではの機能です。色も白と黒の2色があります。

社会福祉総合センター 4 階にある福祉用具展示ホールから、ちょっと便利なグッズを紹介いたします！（福祉用具の展示数は約 400 点！）

【開館時間】月～金曜日 9：00～17：00 第 2 土曜日 9：00～12：00

【お問い合わせ】TEL614-3343 FAX614-1109



こちら情報センター ～福祉の情報収集は情報センターにおまかせ～

情報センターには、福祉関係図書・資料など約 40,000 の蔵書があります。

親子で楽しむ読み聞かせ会

4月19日（土）① 13:30～14:30

【会場】札幌市社会福祉総合センター 3 階 情報センター資料室

【参加費】無料

【定員】親子 30 名（先着順）※ 定員になり次第、締め切らせていただきます。

【予定内容】NPO 法人子育て応援かざぐるまさんが、絵本の読み聞かせを中心にわらべうた、手遊びなどを楽しませてくれます。絵本選びの参考になるお話もしてくれますよ

【申込受付】3月24日（月）～

【お申込み・お問い合わせ先】情報センター資料室

TEL614-2001 FAX615-2666



情報センターおすすめ図書

月刊誌「母の友」

福音館書店

育児や絵本に関する特集を中心に、幅広い記事を掲載している本誌。「読み聞かせ Q & A」「わらべうたの魔法」など、こどもと、ふれあう時間に参考になる情報が満載です。

情報センターでは 2013 年 5 月号から受入を開始しました。バックナンバーの閲覧・貸出もできますので気軽にお問合せください。



「これなあんだ？」の答え「振動アラーム腕時計」

設定した時間になると強力なバイブレーション振動でお知らせします。腕時計ですので、睡眠時の体の姿勢に関係なく振動を確実に伝えます。音が鳴らないので、周囲の方に迷惑をかけることはありません。難聴、高齢者、耳の不自由な聴覚障がい者の方の振動アラーム目覚まし腕時計としても多く愛用されています。（税込 10,479 円）



区社協・事業所等連絡先（清田区）

○清田区社協 889-2491 ○白石・厚別・清田ヘルパーセンター 896-9610

○白石・厚別・清田相談センター 801-3294 ○白石・厚別・清田調査センター 801-3623



赤い羽根からのお便り ~じぶんのまちを良くするしくみ「赤い羽根共同募金」~

平成25年度 助成を受けた団体からの「ありがとうメッセージ」

寄付者の皆様への感謝の気持ちと、募金の使い道をより身近に感じていただけるよう、助成を受けた団体から届いた「ありがとうメッセージ」をご紹介します(平成25年度分)。

**NPO法人
支援センター北のスモーク**

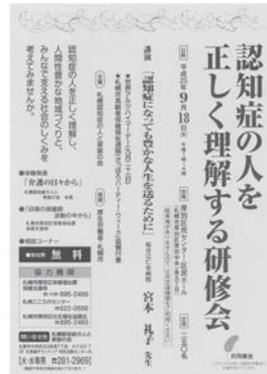
既存の福祉車両の老朽化が進み苦慮していましたが、共同募金の助成で念願の福祉車両を購入することができました。本当にありがとうございました。今後は、※地域活動支援センターの送迎、所外活動への参加等、安心して移動できると思うと感謝の気持ちでいっぱいです。安全運転で大切にに使わせていただきます。



※障がい者の社会参加、日中活動の場です

札幌認知症の人と家族の会

認知症の人を正しく理解していただくための研修会に共同募金の助成金を使用いたしました。研修会では講演や体験発表などを行い、どれも参加者の心に響くものでした。アンケートも回収し、改めて、研修会の意義深いことを確認いたしました。皆様からエールをいただき、スタッフも励まされました。



平成25年9月18日(水)
厚別区民センターにおいて
開催済み

参加者222名

左は当時の案内チラシ

**平成25年度の募金活動が終了しました。
ご協力ありがとうございました。**

昨年の10月1日からスタートした「赤い羽根共同募金」運動は様々な活動によって展開され、12月末をもって終了いたしました。現在、募金の集計と次年度の助成審査を進めています。皆様からお寄せいただいた募金が平成26年度の地域福祉活動に活用されます。次号にてご報告をいたします。



コープ配食サービス 安心して地域で暮らせる街づくりをめざして

笑顔つながる、おいしい暮らし

高齢者見守りの輪をひろげています。

平成24年12月に札幌市と全市的な規模の協定を締結し、「札幌市事業者等による見守り事業」を進めています。

コープさっぽろ高齢者見守り協定 (2013年9月20日現在)

66市町村

配食スタッフがお手伝いした全道の対応事例(2013年9月時点)

323件

お問合せ・お申込みはコープ配食サービスコールセンター(フリーダイヤル)まで。

0120-279-949

受付時間/10:00~18:00(月~土)日曜休み

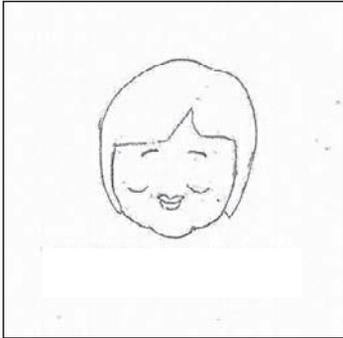


社協新時代への挑戦 ～市民とともに福祉のまちづくりへの挑戦（顔の見えるメッセージ）～

「社協新時代の挑戦⑤～地域包括課編～」

社協新時代への挑戦は5回に渡って、市民とともに歩みたい・進めたい取組みを担当課長がお伝えします

地域包括ケアの実現を目指して



地域包括課長 金山 弘美

高齢者の皆様が、いくつになっても安心して住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるようにするためには、介護サービスをはじめ様々なサービスを、体調の変化や環境の変化などに応じて継続的に提供する必要があります（これが地域包括ケアの実現の意味です）。そのための総合的な支援を行う機関が「地域包括支援センター」です。また、地域の皆様の身近な相談窓口として、民生児童委員の皆様や福祉のまち推進活動センターなどと連携・協力して介護予防の普及啓発活動を実施しているのが「介護予防センター」です。札幌市社会福祉協議会は、札幌市から受託した8ヶ所（全市27ヶ所）の地域包括支援センターと、6ヶ所（全市53ヶ所）の介護予防センターを運営しています。『地域との連携を大切に、地域に開かれた運営を目指し、地域包括ケアの推進を図っていくこと！！』をスローガンに、職員一丸となって業務に取り組んでいます。

国においては、平成27年度の介護保険法の改正に向けて、要支援1・2に認定された方への介護予防給付の見直しが検討されています。

今後も国や札幌市の動きに目を向けていきながら、長寿を喜び誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の高齢者の皆様に寄り添った支援をさせていただきたいと考えております。

《地域包括支援センターの業務内容》

①総合相談支援業務

・高齢者ご本人やご家族等からのご相談に応じ、必要な情報提供やサービス調整を行います。

②高齢者の権利擁護業務

・高齢者の人権や財産を守るため、高齢者虐待の防止に向けて啓蒙啓発活動や成年後見制度・権利擁護事業などの説明等を行い、高齢者の皆様が地域で安心して生活ができるように支援します。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

・高齢者の皆様がより暮らしやすい地域にするため、医療・福祉・保健など様々な関係機関とのネットワークを作り、地域の高齢者の支援体制を整備します。
・地域の介護支援専門員の方の様々な相談に応じ、高齢者の皆様によりよい支援ができるようにサポートします。

④介護予防ケアマネジメント業務

・要介護認定で要支援1・2となった方の介護予防サービス計画の作成やサービス調整などを行います。
・要介護となるおそれのある方の介護予防ケアプランを作成し、通所による教室参加や訪問による相談支援の調整を行います。



《介護予防センターの業務内容》

①総合相談支援業務

・高齢者ご本人やご家族からの相談に対して、訪問などにより実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。

②地域の高齢者を対象にした介護予防業務

・ボランティアなどを活用しての介護予防活動、介護予防に関する情報の提供などを行います。
・すこやか倶楽部や転倒予防教室などを実施します。

③地域の介護予防活動支援業務

・民生児童委員の皆様や福祉のまち推進活動センターと連携・協力して地域に介護予防を啓発・普及します。

敬老園札幌

24時間看護・介護体制で
みなさまの健康と生活を
サポートいたします。

ご見学・お問合せは、入居相談室までお気軽にどうぞ

宗教法人 阿弥陀寺
介護付有料老人ホーム

敬老園札幌

〒063-0040札幌市西区西野十条6丁目2-20
TEL 011-661-8720 FAX 011-661-3220

0120-563-052

http://www.keirouen-sapporo.jp



札幌市社協広報誌 200号 ～ちょっと歴史を振り返り～

社協広報誌 祝200号！過去の記事にタイムスリップ！！



社協だより 第15号（昭和58年9月15日発行）から
ボランティアグループ紹介（理容師グループスマイル会）

奉仕活動の出発は遠く明治時代、明治39年、中島公園に創立された札幌育児園。その周辺に店を構えていた理容師5人が声を掛け合って生まれた名もないグループがスマイル会の源流。

彼らが育児園のこどもたちの散髪をはじめたのが明治43年のこと。次の世代へと引き継がれながら、実に70年以上にわたって続けられてきたという長い歴史を持つ活動です。スマイル会の会員は20名で、10代から60代までさまざまです。一人あたり4人の散髪を受け持つ計算で、フル回転でもたっぷり2時間半はかかります……

ひとこと 当時で70年以上という活動に驚きました。明治、大正、昭和と技術を生かしたボランティアが続けられていたんですね。



やさしい街 第41号（平成3年4月1日発行）から
点訳の大革命 点字タイプライターからパソコンへ

着実に利用率を高める市社協内ボランティア活動室に点訳パソコン機器が設置されました。従来のライトブレイラーや展示タイプライター等の機器では、せっかく文章を打っても間違いが多いときは修正しきれずに、始めから打ち直すことも珍しくありません。しかし、パソコンでは、修正が簡単に行えるため、校正やレイアウト等も短時間になり能率も大幅に向上したとのことです……メリットをあげればきりがありません。ここ数年で、かなりの数が普及することは間違いないでしょう。

ひとこと 時代とともにますます便利で効率的な世の中になりました。当時のパソコン導入は画期的であった様子がうかがえます。便利さが、市民や支援を必要とする方の力になることは大歓迎ですね。



札幌市社協のお問合せ先

社会福祉法人
札幌市社会福祉協議会
地域福祉本部（法人本部）
〒060-0042
札幌市中央区大通西19丁目1-1
札幌市社会福祉総合センター3階
TEL (011) 614-3345（代表）
FAX (011) 614-1109

経営財務部（電話）
総務課・展示ホール 614-3343
社会福祉総合センター 614-2948
情報センター資料室 614-2001
地域福祉部（電話）
地域福祉係 614-3344
札幌市共同募金委員会 614-3532
生活福祉係 614-0169

地域福祉部
ボランティア活動係 219-1737
ボランティア研修センター 223-6005
福祉人材研修係 272-4020
ほっ・とプラザ 272-4440
さっぽろ子育て
サポートセンター 272-2415
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
（権利擁護係） 632-7355

地域包括ケア本部・
介護事業本部
〒060-0001
札幌市中央区北1条西9丁目
リンケージプラザ3階
TEL (011) 272-4020
FAX (011) 272-4010

地域包括部
地域包括係・調査係 209-4021
介護事業部
管理係 272-4020
訪問介護係・支援事業係 209-4020
総合支援センターえがお 231-3294
訪問看護ステーションあんしん
208-3511

各区社協・事業所等の
連絡先（電話）は
2～11ページ下に
紹介しています

区社協・事業所等連絡先（手稲区）
○手稲区社協 681-2644 ○手稲ヘルパーセンター 684-8050 ○手稲相談センター 683-3294
○介護予防センター中央・鉄北 682-1294 ○手稲調査センター 686-2750



情報トピックス ～札幌市社協からのお知らせ～

ご寄附ありがとうございました

- 2013/11/7 NPO 法人シーズネット 様 30,000 円
- 2013/12/11 札幌防犯健全協力会 様 50,000 円
- 2013/12/13 宮岸 文子 様 10,000 円
- 2013/12/16 「999 人の第九」の会 様 100,000 円
- 2013/12/17 MAYUMI コンサートシリーズ運営委員会 代表 大平まゆみ 様
コンサートチケット 50 枚
(老人福祉施設協議会 希望施設に払出)
- 2013/12/19 宗教法人真如苑 北海道本部 様 500,000 円
- 2014/1/14 フラワーショップ花れん 様 2,100 円
- 2014/1/27 矢田 美子 様 3,250 円



「999 人の第九」の会 様



札幌防犯健全協力会 様



宗教法人真如苑 北海道本部 様



さっぽろ地域福祉検定 ～クイズに答えて景品をゲット！～

「さっぽろ地域福祉検定」は、札幌市社協の地域福祉推進にご協力いただいている企業とともに送りしてきましたが、今回は、各区社協で様々に作成する「まもりんグッズ」のご紹介も込めて、白石区社会福祉協議会に協力をいただきました。

【景品】

「まもりん」エコバック！
とてもしっかりしています。
もちろん非売品！

(20 名様に)



【第 6 回の問題はこちら！】

Q 札幌市社協広報誌は節目をむかえました。今回の広報誌は記念すべき 200 号です。ところで「やさしい街」という名称で発行をはじめたのは何号からでしょう。表紙をよくご覧になって、A～C の中から選んでください。

A 24 号 B 34 号 C 44 号

【クイズの応募方法】

①住所 ②氏名 ③電話番号 ④クイズの答えを記入のうえ、下記までがきか FAX でご応募ください。
平成 26 年 4 月 4 日 (金) 必着

〒060-0042 札幌市中央区大通西 19 丁目 1-1
札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 検定クイズ係
【FAX の場合は (011) 614-1109 まで】

応募多数の場合は抽選のうえ当選者を決定いたします。
当選者の発表は景品の発送もって行います。

《1 月号の答え A スノーバスターズ 除雪の強い味方ですね》

白石区社会福祉協議会では、町内会などで行う福祉活動を推進するために「福祉出前講座」を開始しています。

エコバックは講座受講者に配布し、見守り・訪問の意識を高めることに役立てられています。

【「まもりん」から一言】

まだまだ雪が残っていますが、やはり春が待ち遠しいですね。春と言えばまもりんのハートの色と同じサクラがいいですね。社会福祉総合センターの中庭にも見事なサクラがあって、来館者、職員の目を和ませてくれます。仕事の忙しい時期に咲くので、余裕がないと見逃してしまうことも・・・。5 月初旬が見ごろでしょうか。雪だけはまだなのですが、次号でご紹介すると確実に見逃してしまいますので今回のご紹介でした。